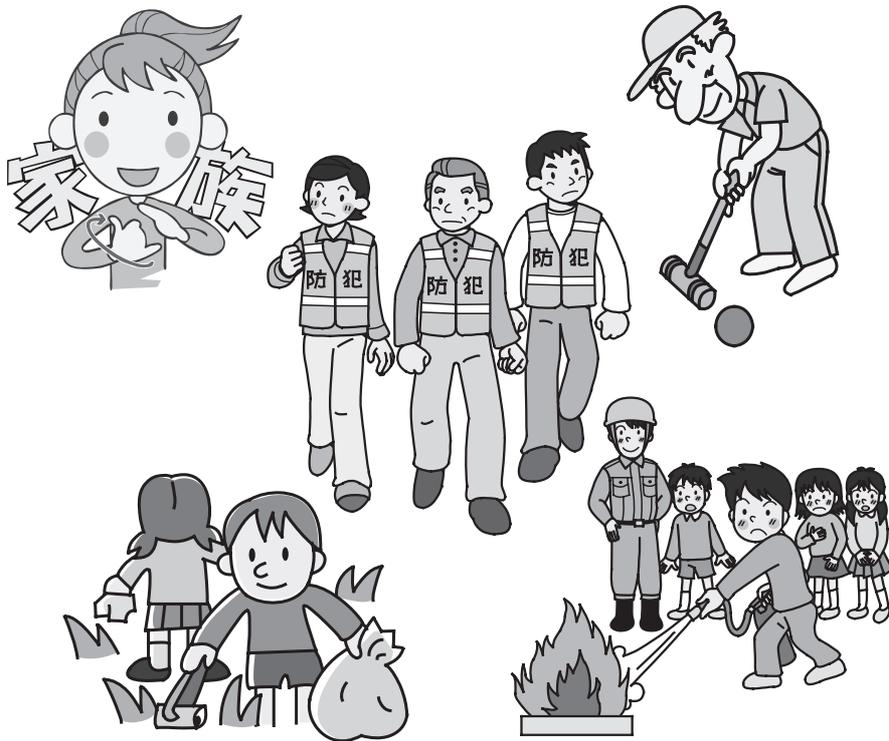


平成24年度 福祉教育協力学区指定事業活動報告書

地域社会・学校・家庭の協働
— 子どものときから福祉の目を —



社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

発刊にあたって



福祉教育協力学区指定事業は、平成17年度まで実施した「児童・生徒のボランティア活動普及事業」を発展させて平成18年度から新たに始めた事業で、今年度で7年目を迎えました。

この事業は、「児童・生徒のボランティア活動普及事業」において学校中心に行われていた福祉教育から、学校を含めた地域社会や家庭が協働して、子どものときからボランティア活動等を通して社会福祉への理解と関心を高め、助け合い活動を育む福祉教育を推進していくことを目的に実施しています。

本事業はご協力いただける市町村社会福祉協議会を指定いたしまして、中学校区または小学校区を単位として、それぞれの地域性を活かしながら地域一体となった福祉教育の活動に取り組んでおります。

今年度は、平成22年度に指定をした3市町村社会福祉協議会が本年度で指定期間の3年間を終了することから、これまでの福祉教育に対する取り組みをまとめ広く周知するためこの報告書を発刊することとしました。

この報告書が、今後各地域で取り組まれる福祉教育活動の一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本報告書の作成にあたりご協力いただきました各社会福祉協議会担当者、学校の先生方、地区の役員の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成25年3月

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会 長 関 正 夫

目 次

□ 発刊にあたって	1
□ 目次	2
□ 福祉教育協力学区指定事業実施要項	3
□ 活動報告（平成22年度指定社協）	
・行方市社会福祉協議会	5
・小美玉市社会福祉協議会	15
・坂東市社会福祉協議会	25

福祉教育協力学区指定事業実施要項

1 目的

地域社会・学校・家庭が協働して、子どものときから社会福祉への理解と関心を高め、助け合い活動を育む福祉教育を推進することを目的とする。

2 実施主体

市町村社会福祉協議会（以下、「市町村社協」という）とする。

3 地域の指定

茨城県社会福祉協議会（以下、「茨城県社協」という）から指定を受けた市町村社協が、原則として中学校区区域を指定する。

4 指定期間

地域の指定は、3カ年とする。

5 指定地域の事業

（1）必須事業

- ① 指定期間中に、計画的に福祉教育推進協議会（以下、「協議会」という）を設置する。協議会の名称は、指定市町村社協において定めて良いこととする。
- ② 指定1年目に「ぼうさい探検隊」を行うことによって、地域の福祉課題に気づき、共に課題解決しようとする態度を養う。

（2）選択事業

指定区域内の小・中学校及び高等学校と連携して、次の事業を選択して行う。ただし、保護者、関係者だけで実施することもできる。

- ① ボランティアスクール、福祉体験講座の啓発活動
- ② 福祉マップづくりなど、地域の点検・調査活動
- ③ 地域社会で生活する高齢者や障がい児者等に対するボランティア活動
- ④ 社会福祉施設への訪問、ボランティア活動
- ⑤ 学校における「総合的学習の時間」との連携事業
- ⑥ 小・中学校及び高等学校を通じた系統的な学習
- ⑦ 未使用教室の活用事業
- ⑧ 家庭、地域社会への広報活動
- ⑨ 指定地域間の相互交流・学習等
- ⑩ 地域内の複数の関係機関・団体との協働活動
- ⑪ その他、目的達成のため、協議会が必要と認める事業

6 協議会

- （1）協議会の構成は、市町村社協と福祉教育に関係する次の関係機関・団体等から構成する。

なお、地域の実情を十分考慮して、構成することとする。

【構成例示】

教育委員会，学校，児童館，公民館，学童保育，社会福祉施設，福祉団体，民生委員児童委員，ボランティア，PTA，子ども会育成会，自治会・町内会，企業，商店会，福祉関係行政等

(2) 協議会の役割

地域内の福祉課題，生活課題を把握し，課題に対応する選択事業の企画と実施。

7 茨城県社協及び市町村社協の役割

(1) 茨城県社協から指定を受けた市町村社協は，協議会を設置する。

(2) 茨城県社協及び市町村社協は，同協議会の円滑な活動を支援するため，連携して次の事業を行う。

- ① 講座・体験等の講師，助言者の斡旋及び派遣
- ② 関係機関等との連絡調整
- ③ 事業・活動に必要な資機材の提供
- ④ 関係資料の作成及び情報の提供
- ⑤ 指定地域間の相互交流
- ⑥ その他，目的達成のために必要な事項

(3) 茨城県社協は協議会の経費として，予算の範囲内において助成することとし，指定市町村社協に助成する。

指定市町村社会福祉協議会

期	期 間	社 協 名
1 期	平成 1 8 年～ 2 0 年	水戸市 城里町 結城市
2 期	平成 1 9 年～ 2 1 年	笠間市 北茨城市 牛久市 利根町
3 期	平成 2 0 年～ 2 2 年	茨城町 八千代町
4 期	平成 2 1 年～ 2 3 年	大子町 五霞町 美浦村
5 期	平成 2 2 年～ 2 4 年	行方市 小美玉市 坂東市

玉造西小学校区における福祉教育の推進



(那珂市ナザレ園訪問時交流の様子)

社会福祉法人 行方市社会福祉協議会

1. 活動目標

○地域の方との協同・連携を図りながら、社会福祉への理解と関心を育む福祉教育の推進

○防災マップ作りを通して、自分たちが暮らす地域の安全についての意識を高める、学校・地域での共通理解を図る

2. 福祉教育推進協議会組織図

玉造西小学区福祉教育推進協議会委員

No.	要綱組織	所属
1	学校代表	行方市立玉造西小学校
2	教育団体	行方市立玉造西小学校子ども会育成会会長
3	PTA 組織	行方市立玉造西小学校 PTA
4	地域ボランティア団体①	玉造西小はやしの会
5	地域ボランティア団体②	玉造西小学校地域安全ボランティア
6	学区内高齢者クラブ①	浜地区高齢者クラブ
7	学区内高齢者クラブ②	谷島地区高齢者クラブ
8	社会福祉協議会	社会福祉法人行方市社会福祉協議会

3. 実践活動内容

■ 1年次（平成22年度）

実施事業名	内 容
福祉教育推進協議会設置の検討	<p>1. 福祉教育推進協議会設置の検討</p> <p>教育委員会や青少年育成行方市民会議玉造西小学区協議会の理解を得て、玉造西小学校区の指定を決定した。指定終了後も継続的に推進できるように、関係団体による準備会を立ち上げ、当事業の趣旨や必要性を理解していただき、委員構成等の意見の参考にさせていただいた</p>
ぼうさい探検隊の実施	<p>1. 防災探検隊の実施（玉造西小学校全校児童49名）</p> <p>(1) 事前学習（12月13日：学校内で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検コース2地区（浜・谷島）の確認 ・探検コースのマップ作りの原案作成 <p>(2) ぼうさい探検隊の実施（12月20日：学区内で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7班各班ごとに役割分担を決め、写真撮影、インタビュー、施設設備箇所などを通して、担当引率者とともに学区内の各地区を探検する。 <p>(3) 防災マップづくり（1月12日～21日：学区内で実施）</p> <p>(4) 発表会の実施（1月28日：児童集会で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した防災マップをもとに、健康委員会が危険箇所や、探検を通しての感想を報告・発表した。また、児童は各学級で感想発表を行い、さらに理解を深めた
選択事業	<p>1. 地区内で実施される敬老会行事への共同活動に参加した。 (9月26日)</p> <p>2. 三世代ふれあい交流活動への福祉体験講座の啓発活動について、校内で実施した三世代交流もちつき大会の中で、福祉体験の啓発活動を実施した（11月27日）</p> <p>3. 学校で実施している「総合的な学習の時間」における高齢者の疑似体験活動を行った（1月～2月）</p> <p>4. 地域内のお囃子の会が特別養護老人施設（那珂市ナザレ園）を訪問し高齢者たちと児童たち（28人）が触れ合った (1月23日)</p> <p>5. 家庭・学区内住民への「学校だより」配布による広報活動を行った（年間）</p>

■ 2年次（平成23年度）

実施事業名	内 容
福祉教育推進協議会	<p>1. 玉造西小学区福祉教育推進協議会</p> <p>(1) 福祉教育推進協議会の事業計画に則り、事業計画と方針について再度確認する。</p> <p>(2) 社会福祉協議会事務局から、事業実施について打ち合わせを設ける。</p> <p>(3) 後日、防災探検計画案について詳細説明を受ける。</p>
ぼうさい探検隊の実施	<p>1. ぼうさい探検隊の実施（玉造西小学校全校児童45名）</p> <p>(1) ぼうさい探検の実施（7月20日、12月22日：学区内で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校時担当引率者並びに交通安全ボランティアの方々とともに通学時安全確認をする。 <p>(2) 防災マップの確認（平成22年度に作成したマップを基に、7月：学区内で実施）</p> <p>(3) 発表会の実施（1月27日：児童集会で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した防災マップを基に健康委員会が危険箇所や探検を通しての感想を報告・発表した。また、児童は各学級で感想発表を行い、さらに危機管理意識など理解を深めた。
選択事業	<p>1. 地区内で実施される敬老会行事への共同活動に参加した。 (9月23日)</p> <p>2. 三世代ふれあい交流活動への福祉体験講座の啓発活動について、校内で実施した三世代交流もちつき大会の中で、地域の高齢者を招待し、共に交流するなど啓発活動を実施した（11月25日）</p> <p>3. 学校で実施している「総合的な学習の時間」における高齢者の疑似体験活動を行った（1月～2月）</p> <p>4. 地域内のお囃子の会が特別養護老人施設（那珂市ナザレ園）を訪問し高齢者たちと児童たち（27人）が触れ合った (1月22日)</p> <p>5. 家庭・学区内住民への「学校だより」配布による広報活動を行った（年間）</p>

■ 3年次（平成24年度）

実施事業名	内 容
福祉教育推進協議会設置の検討	<p>1. 玉造西小学校区福祉教育推進協議会設</p> <p>(1) 福祉教育推進協議会の事業計画に則り、事業計画と方針について再度確認する。</p> <p>(2) 社協事務局より、本年度の事業計画の詳細について打合せを行う。</p> <p>(3) 事業実施上、社協事務局の協力を受け、学校、地域、社協の連携のもと各種事業を実施する。</p>
ぼうさい探検隊の実施	<p>1. ぼうさい探検隊の実施（玉造西小学校全校児童44名）</p> <p>(1) ぼうさい探検隊の実施（9月3日、12月20日：学区内で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校時担当引率者並びに交通安全ボランティアの方々とともに通学時安全確認をする。 <p>(2) 防災マップの確認（一昨年作成したマップを基に学区内で実施）</p> <p>(3) 発表会の実施（1月9日～11日：各学級で実施） （1月26日：学区内で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップを基に、各学級で危険箇所やぼうさい探検を通しての感想を発表し、危機管理意識等をこれまで以上に深め、地域防災の必要性について再確認した。 ・1月26日には行方消防署、学区内消防団の協力のもと、児童・保護者ととともに下校時ぼうさいマップの確認を行った。
選択事業	<p>1. 地区内で実施される敬老会行事への共同活動に参加した。 （9月22日）</p> <p>2. 三世代ふれあい交流活動への福祉体験講座の啓発活動について、校内で実施した三世代交流もちつき大会の中で、福祉体験の啓発活動を実施した（11月23日）</p> <p>3. 学校で実施している「総合的な学習の時間」における高齢者の疑似体験活動を行った（11月～12月）</p> <p>4. 地域内のお囃子の会が特別養護老人施設（那珂市ナザレ園）を訪問し高齢者たちと児童たち（26人）が触れ合った （2月17日）</p> <p>5. 家庭・学区内住民への「学校だより」配布による広報活動を行った（年間）</p>

4. 主な活動事例紹介

■活動名 ぼうさい探検隊

- ①実施日 1年次 平成22年12月13日 ～ 平成23年1月28日
2年次 平成23年 7月20日 ～ 平成24年1月27日
3年次 平成24年 9月 3日 ～ 平成25年1月26日
- ②内 容 1年次 防災マップ作りを通じた地域の危険個所の把握、
2年次 地域の危険個所や、危機管理意識の共通理解
3年次 消防署、学区内消防団、地域住民とともに危険個所等の共通理解を図る



通学路の危険個所をみんなで調査！！



地域安全ボランティアの皆さんにも協力
いただきました

■活動名 お囃子の会 老人施設訪問

- ①実施日 1年次 平成23年 1月23日
2年次 平成24年 1月22日
3年次 平成25年 2月17日

- ②内 容 児童の3分の2が所属する「西小はやしの会」による特別養護老人施設ナザレ園（那珂市）への慰問活動



毎年慰問し、お囃子を披露しています



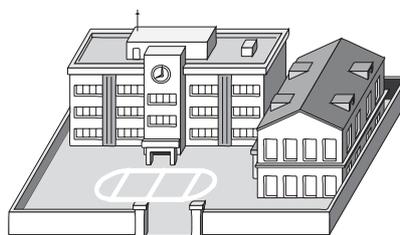
児童も入所者の方も楽しみにしています

5. 成果と今後の取り組み

今回の3年にわたる取り組みにより、児童と地域の方々との絆が深まった。

ぼうさいマップ作り等を通し、地域を知ることにより、学校が地域の方々に見守られていることや支えられていることが理解できたと思う。その成果もあり、児童の地域へのあいさつや感謝の気持ちが深まった。

学校と地域を結ぶ絆づくりのため、学校便りやホームページなどを活用し 学校の情報を地域へと発信し、さらに地域社会と協同・連携した福祉教育活動を推進していきたい。



『福祉の芽 育てて咲かす 笑顔の輪！』

小美玉市立 下吉影小学校区・納場小学校区・玉里小学校区



社会福祉法人 小美玉市社会福祉協議会

1 活動目標

- 活動を通じて世代を越えた協働活動の関係づくりを図る。
- 子どものときから福祉にふれ理解と関心を高め、助け合い活動を育む福祉教育を推進する

2 福祉教育推進協議会組織図

学校長
PTA会長
行政区長代表者
小美玉市老人クラブ連合会代表者
ボランティア代表者
小美玉市教育委員会学校教育課
小美玉市社会福祉協議会事務局長

3 実践活動内容

◆1年次(平成22年度)

事業名及び活動内容

1 ぼうさい探検隊の実施及びクリーン作戦事業

- ①作成されている防災マップの再点検
- ②保護者及び地域住民が危険個所の把握をすることで、事故防止となる
- ③クリーン作戦により地域でのボランティア活動が広がる

実施時期 6月

実施方法

- ①各学年ごとに確認する地域を決め、保護者及び地域住民とともにクリーン作戦を行い危険個所の再確認や新たな危険個所、区域を調べを行いました。
- ②危険内容を話し合い防災マップ上に記載しました。



◆2年次(平成23年度)

事業名及び活動内容

1 ぼうさい探検隊の実施及地域安全マップの活用

- ①作成されていた地域安全マップの再点検
- ②地域安全マップを活用し、地域全体の危険場所の把握と意識を高める

実施時期 夏休み

実施方法

- ①通学路の危険個所の点検や不審者の出やすい場所、人通りが少ない場所110当番の家などをマップに記載しました。
- ②作成した地域安全マップの下敷きを作成し全児童へ配布、また、新一年生の安全確認に活用しました。



◆3年次(平成24年度)

事業名及び活動内容

1 避難訓練(地震)引き渡し訓練及び防災探検(親子で安全確認)

①地震等による非常事態を想定した避難訓練と児童の引き渡し訓練、及び通学路の安全確認を行うことにより、災害に備えるための避難の仕方などを家庭で話し合う事が出来る

実施時期 9月

実施方法

- ①事前に地震の恐ろしさや、避難訓練の心構え、方法、避難経路、避難場所を学習しておく。
- ②児童の引き渡しが必要となるような非常事態を想定しました。
- ③引き渡し訓練後、保護者と一緒に通学路の危険箇所区域などを調べながら下校しました。
- ④子ども会ごとに調査した危険箇所などを大型の防災マップに記載し、クリアファイルを作成し全児童へ配布しました。



4 選択事業

① ボランティアスクール、福祉体験講座の啓発

【納場小学校区】

総合的な学習の時間を使い福祉体験 車イス、アイマスク、白状体験をしました。
体の不自由な方々の思いや願いに気づき福祉に対する理解を深めました。



【玉里小学校区】

総合的な学習の時間(かがやきタイム)を利用して車イス・アイマスク体験を行いました。
車イスの操作方法を学び、お友達を乗せて行ったところ信頼関係の必要なことやアイマスク体験では、保護者を交えて体験をしました。



【玉里小学校区】

手話体験

地域の手話ボランティアのみなさんより、挨拶や自己紹介、歌を学び身近に感じることが出来ました。手話と友だちになりました。



②社会福祉施設への訪問、ボランティア活動

【下吉影小学校】

かいごよぼう玉里のみなさんと交流

高齢者の皆さんに唄や合奏をひろうしたり、お茶入れのお手伝い、ゲーム大会をおこない楽しい時間を過ごしました。



【玉里小学校区】

ボランティア活動

ボランティア委員会が中心となりエコキャップの収集を行いました。集まりましたエコキャップは、社会福祉協議会でお預かりをしてエコキャップ推進協会への橋渡しをしました。



③未使用教室の活用事業

【玉里小学校区】

地域の老人クラブの皆さんが子どもたちの声を聞きながら未使用教室でパッチワークを楽しみました。高齢者は学校に行くことがとても楽しみで「学校へ行く時は朝から胸がどきどきするのよ」と話をして下さいました。

また、家庭科の時間やクラブの時間には、先生として子ども達に指導したり多くの学校行事に参加をし交流しました。



④指定地域間の相互交流・学習等

【下吉影小学校】

地域交流(下吉影祭)

地域の高齢者及び保護者のみなさんに児童たちが練習を重ねてきたミュージカルを鑑賞していただき、地域の方々と児童でつuitたお餅を食べ交流を深めました。



下吉影小学校の元校長先生を講師に迎えたマジックショー「子どもには遊びが大切」長い休み時間(わくわくタイム)を使いマジックショーをおこないました。独学で手品を学び、様々な施設でマジックショーを行っています。紐を使った手品を教えていただき子どもたちは大喜びでした。



5 成果と課題

(1) 成果

地域の方々（高齢者）や保護者が小学校の行事に参加することで、世代間の交流や親子のふれあいが生まれ、同じ地域に住む住民同士が顔見知りになりました。高齢者にとっては、学校へ行くことで生活に変化が現れ、子どもたちのために協力をしたいという気持ちがあふれ地域の福祉力の向上となりました。子どもたちには、自分の周りには見守りや支えてくれている人たちがたくさんいることを学び感謝の気持ちや思いやりの心が生まれました。

地域性を活かしながら、地域と学校と社会福祉協議会の三者が連携することでお互い顔の見える福祉教育を行うことができました。多くの関係者の支援協力を得ながら事業ができたことは大変良かったと思います。

(2) 課題

これからは、本事業の成果を活かし、地域と学校と社会福祉協議会のつながりを大切にしながら、地域の中にある福祉施設やボランティアなどの各種団体の力を借りて、学校と関わることのできる事業が必要と思われます。

地域と学校を福祉活動で結ぶ

坂東市社会福祉協議会七重支部



七重地区防災訓練



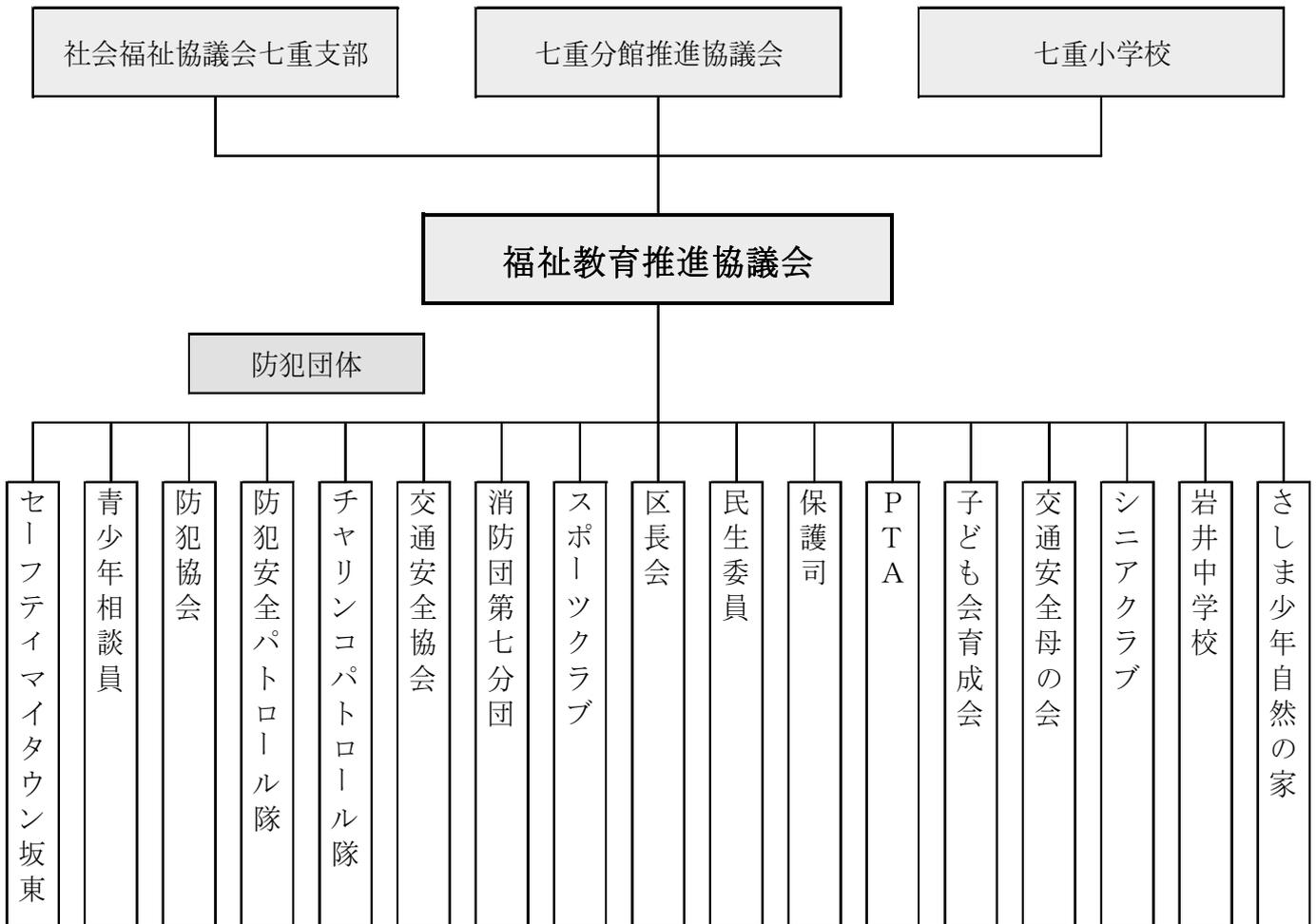
坂東市立七重小学校

社会福祉法人 坂東市社会福祉協議会

1 活動目標

- 地域社会・学校・家庭が協働して、子どものときから社会福祉への理解と関心を高め、助け合い活動を育む福祉教育を推進する。
- 住民の創意工夫による先駆的な活動を支援し、それらをモデル事業と位置付け、市内全域に住民が主体となる地域福祉活動を推進していく。

2 福祉教育推進協議会組織図



3 実践活動内容

◆ 1年次（平成22年度）

実施事業名	内 容
福祉教育推進協議会	<p>小学校区内にある、支部社協、公民館分館、区長会、民生委員児童委員、防犯団体等の関係機関と連携を図り、福祉教育推進協議会（57人）を設置。</p>
ぼうさい探検隊	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成22年9月1日（金） ・参加者 児童（216人）、推進員（40人） <p>防災の日に合わせて、小学校区の通学路ごとに危険箇所等を探しながら、防災マップを作成。福祉教育推進協議会を中心に地域住民と全校児童が協力し、下校の時間を利用して行った。</p> <p>子どもときから地域住民と共につくる安心なまちづくりの心を養い、福祉に対する関心を高めた。</p>
選択事業（関係機関・団体との協働活動）	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成22年10月16日（土） ・参加者 34人 <p>県社協と市社協の共催により、福祉教育推進協議会の推進員を対象として、防災ボランティア養成研修会を開催した。防災ボランティアの講師による講義のほか、地元消防署の指導のもと、普通救命講習を実施した。なお、研修会終了後、受講者は県ボランティアセンター（県社協）に防災ボランティアの登録を行った。</p>

◆ 2年次（平成23年度）

実施事業名	内 容
福祉教育推進協議会	<p>1年次に設置した福祉教育推進協議会を効果的に運営し、小学校区内にある支部社協、公民館分館、区長会、民生委員児童委員、防犯団体等の関係機関と連携強化を図り、事業を展開した。</p> <p>（会議等の状況）</p> <p>・6回開催（事業計画の立案・承認など） 延べ138人参加</p>
ぼうさい探検隊（防災訓練の実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成23年12月4日（日） ・場 所 坂東市立七重小学校 ・参加者 500人 ・主 催 公民館七重分館、社会福祉協議会七重支部 ・協 力 七重小学校、七重地区防犯連絡協議会、坂東市消防団第7分団、坂東消防署、境警察署、坂東市、坂東市社会福祉協議会 <p>地域の防災対策の充実強化を図るため、「七重地区防災訓練」を開催。消火器の使用訓練やスモークマシンの体験など、災害時を想定した各種訓練を行い、全校児童・保護者をはじめ地域から500人が参加。防災対策の充実に向けて有意義な訓練となった。</p>
選択事業（関係機関・団体との協働活動）	<p>小学校区内で結成されている防犯団体を中心に、年間を通じてパトロールを実施した。また、防災訓練の際には、独居高齢者の安否確認のため、防犯団体や民生委員児童委員が協働し訪問活動を実施した。</p>

◆ 3年次（平成24年度）

実施事業名	内 容
福祉教育推進協議会	<p>福祉教育推進協議会を効果的に運営し、小学校区内にある支部社協、公民館分館、区長会、民生委員児童委員、防犯団体等の関係機関と連携強化を図り、事業を展開した。</p> <p>（会議等の状況）</p> <p>・8回開催（事業計画の立案・承認など） 延べ154人参加</p>
ぼうさい探検隊（防災訓練の実施）	<p>・実施日 平成24年12月2日（日）</p> <p>・場 所 坂東市立七重小学校</p> <p>・参加者 600人</p> <p>・主 催 公民館七重分館、社会福祉協議会七重支部</p> <p>・協 力 七重小学校、七重地区防犯連絡協議会、坂東市消防団第7分団、坂東消防署、境警察署、坂東市、坂東市社会福祉協議会</p> <p>継続により充実強化を目指すため、前年に続き「第2回七重地区防災訓練」を開催。児童の避難から開始し、はしご車による救出や消火器の使用訓練、スモークマシンで火災現場からの脱出体験などを実施。また、災害時を想定して、地域内の被害状況の把握と独居高齢者の安否確認を行い、小学校区全体を対象とする各種訓練が関係機関・団体の協働によりスムーズに進められた。</p>
選択事業（関係機関・団体との協働活動）	<p>きずな声かけ事業</p> <p>地域のふれあいの輪を再構築することを目的に、独居高齢者などの実態把握を含めた訪問活動を行った。要援護者の整備、対象者の決定、訪問活動（品物持参）を段階的に実施した。</p>

4 主な活動事例紹介

(1) ぼうさい探検隊（平成 22 年度）

【概要】

七重小学校の全児童（216人）を対象に、学校関係者・保護者・福祉教育推進協議会（40人）が連携して一斉下校時に実施。通学路を歩きながら、自分達が住む地域の危険箇所や防災・防犯施設などの設置箇所を見つけ、安全マップを作成した。



▲地図に危険箇所をシールで貼り付け



▲設置箇所の確認

(2) 防災ボランティア養成研修会（平成 22 年度）

【概要】

いつ起こるか分からない災害に備え、迅速、かつ的確な対応や支援活動ができる体制を整えておくことも重要であり、それに協力していただけるボランティアの方々が必要である。そのため、災害発生時に各種支援活動に参加・協力していただける、防災ボランティアの養成を目的として開催した。



▲普通救命講習（心肺蘇生法）



▲講義「災害ボランティアの実際」

(3) 七重地区防災訓練（平成 23 年度・平成 24 年度）

【概要】

地域の防災対策の充実強化を図るため、「七重地区防災訓練」を実施。（2回開催、延べ1,100人参加）関係者の協力のもとに、消火器やスモークマシンの体験、独居高齢者の安否確認など、災害時を想定した各種訓練を行った。安心・安全なまちづくりの実現に向けて有意義な訓練となった。



▲打合せ会議の様子



▲訓練内容の検討



▲非常食を試食



▲役割分担の確認



▲訓練当日（七重支部長より開始前の挨拶）



▲関係機関と協働で実施



▲地震発生、避難開始



▲行政区ごとに児童を受入れ



▲独居高齢者宅へ出発(民生委員・青パト隊・防犯団体)



▲スモークマシンの体験



▲消火器の使用訓練



▲NTT災害用伝言ダイヤルの操作説明



▲被害状況、安否確認の結果報告



▲訓練終了後の講評(校長先生)

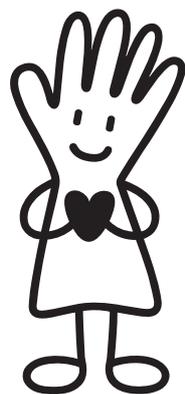
5 成果と今後の取り組み

(1) 成果

- ① 指定事業の導入前から、七重小学校区では、各団体や地域住民が自主的に、また組織的に福祉教育を支援していたが、3年間の取り組みは、地域の助け合いの意識がさらに高まるきっかけとなった。
- ② 防犯活動や防災訓練の取り組みを市社協ホームページに掲載した結果、県外社協から視察申し込みがあった。広く知れ渡ることによって、地域住民の福祉活動に取り組む意欲が高まった。

(2) 今後の取り組み

- ① 指定期間終了後も、これらの活動を継続的・発展的に取り組み、地域住民の福祉に対する意識をさらに高め、安全・安心なまちづくりの実現を目指していく。
- ② 七重小学校区の住民主体による福祉活動をモデル事業と位置付け、市内全域への普及を目指していく。



はんどちゃん

福祉教育協力学区指定事業活動報告書

第5期指定 平成22年度～平成24年度



社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内

TEL：029-241-1133(代) FAX：029-241-1434